十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
〒080 帯広市東1条南8丁目
電話＝編集㉒2121、広告㉓2323、総務・販売㉙2222
©十勝毎日新聞社 1987

# アメリカ宇宙開発最前線

＜9＞

## オハイオ大学

# 産学官一体で挑戦

## 高い国家安全保障意識

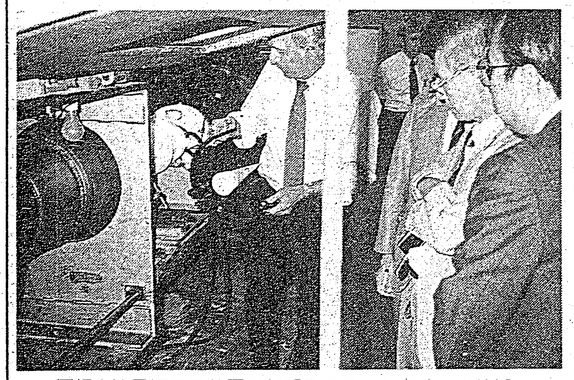
オハイオ州コロンバス。宇宙における新材料開発技術訪米実態調査団（一行四人）と一緒にオハイオ大学に足を運んだ。アメリカは広く社会人に大学の門が開かれている。オハイオ大は婦人や夜間学生などを含むと実に五万人のマンモス大学だ。

広いキャンパスを走り、航空宇宙実験室を訪れた。ジェラルド・M・グレゴリック教授ら四人のスタッフが温かく迎えてくれた。「この実験室では宇宙機（スペースプレーン）を宇宙に上げて、戻るシステムの研究をしている。特に、大気圏に入る際、高温が出るので、それに耐えられる構造が大きなテーマだ」と同教授。さっそく、実験室を案内してくれた。

……

**戦闘機も研究**

まず、目についたのがGE社（ゼネラル・エレクトリック社）の戦闘機エンジン。私は即、スタッフのひとりに「日本なら戦闘機の研究を学内でしていることを知ると、おそらく拒否反応を示す学生が出てくるだろう。ここでは問題は起こらないの？」と質問した。すると、「若いスタッフは全くない」と不思議そうな顔をした。



極超音速風洞実験装置の説明をするグレゴリック教授

アメリカでは自分の国を守るのは当然。その証拠に国防総省は日本の防衛庁とは比較にならないくらい省庁の間でも発言力が強い。学生にも人気のある省庁なのだ。

そういえばアメリカ入りした初日、ワシントンで石田裕貴夫朝日新聞記者が「アメリカ人はナショナル・セキュリティー（国家安全保障）の意識が強い。直接、今回小野寺さんのテーマには結びつかないが、その背景は頭に入れておいた方がいい。事実、軍は宇宙関連の予算もかなり握っているよ」とアドバイスしてくれたのを思い出した。

ボーイング747型機のエンジンと並んでごく自然に置いてある戦闘機のエンジンを見て、日米の防衛意識の違いを肌で感じた。

……

**航技研と同レベル**

別室に入った。ここにはマッハ10―12の極超音速風洞実験機があった。これは三十年前につくられた旧式だが、性能は抜群だという。二月、東京都調布の航空宇宙技術研究所を取材、マッハ11の極超音速風洞をみた。それが日本で最高の風洞施設―という説明を受けたが、同じレベルのものが大学にあるのだから驚きだ。

この他にもジェットエンジンのテスト、シュミレーター、コンピューター施設、ボイジャーのボディーなど、大学とは思えない立派な設備、機械がそろっている。それを実にオープンに、自信たっぷり見せてくれるのだ。

同教授は「この施設は大学ではナンバーワンだ。なぜかというとオハイオ大は民間企業と政府、NASAとの関係が実にいいため、そこから基礎研究の資金が出てくるのだ」と胸を張った。

外を見ると、キャンパスに飛行場があった。滑走路は四本。一番長いのが千二百二十㍍ある。セスナ機が十数台並んでいた。日本の大学では全く考えられないことだ。スケールの大きさ、航空宇宙がすぐ身近にあるのを目の当たりにした。

同大の航空宇宙を学ぶ学生は四百人、超高速の研究は六人が専攻している。スタッフの一人は「ここ四―五年、映画スター・ウォーズなどの影響でアメリカ人全体が宇宙に興味を示している。学内でも人気のある学科になってきた」と説明していた。

取材後、車の中で団員と話し合った。石川島播磨重工業応用物理専門課長、池上雄二さんは「このように産・学・官が一体にならないと宇宙産業は成り立たない。日本も産・学・官を密にして失敗のリスクをカバーするシステムにしないと…」と感心していた。

……

**日本の遅れ痛感**

また、野村総合研究所技術情報産業室、村田佳生さんは「オハイオ大、ヒューストン大などの大学はもちろん、公園、道路などをみても、とにかく社会資本が充実しているのには驚いた。日本はアメリカの国債や土地を買い金持ちのような気分でいるが、金のあるうちに教育、環境、科学に投資して本当の力を付けないと、アメリカとの差は開く一方だろう」と主張していた。

全く同感だった。科学の宝庫である宇宙に国も企業も大学も、もっと力を注がないと、日本は一流国から転落するのではないか―。「挑戦する心がなくては未知は開拓できない。再び毛利衛宇宙飛行士の言葉が浮かんできた。

広々としたオハイオの景色は十勝に似ていた。その十勝からスペースプレーンが飛び立つ日が近いか、遠いかで、日本の科学技術の発展に大きな差が出てくるような気がした。早く大樹・十勝が日本のスペースポート（宇宙港）になれば―そんな思いを一層強くしたアメリカ十八日間の旅だった。

（小野寺 裕記者）

（おわり）

和・洋酒は…
井上酒店
西3南10 ☎(0155)23-6161

年間キャンペーン「目指せ宇宙基地」第4弾